



2021年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年4月5日

上場会社名 株式会社バイク王&カンパニー 上場取引所 東
 コード番号 3377 URL <https://www.8190.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）石川秋彦
 問合せ先責任者（役職名）執行役員 管理部門担当（氏名）竹内和也（TEL）03-6803-8855
 四半期報告書提出予定日 2021年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年11月期第1四半期の業績（2020年12月1日～2021年2月28日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第1四半期	5,578	22.7	215	-	251	-	158	-
2020年11月期第1四半期	4,545	11.9	△174	-	△150	-	△120	-
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年11月期第1四半期	11.38		-					
2020年11月期第1四半期	△8.66		-					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第1四半期	7,356	4,669	63.5
2020年11月期	7,655	4,580	59.8

（参考）自己資本 2021年11月期第1四半期 4,669百万円 2020年11月期 4,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	-	2.50	-	5.00	7.50
2021年11月期	-	-	-	-	-
2021年11月期（予想）	-	5.50	-	5.50	11.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年11月期の業績予想（2020年12月1日～2021年11月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	12,000	13.4	600	299.9	700	238.8	460	296.8	32.94
通期	23,500	5.1	1,000	41.3	1,160	34.9	770	29.6	55.14

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期 1 Q	15,315,600株	2020年11月期	15,315,600株
② 期末自己株式数	2021年11月期 1 Q	1,350,000株	2020年11月期	1,350,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期 1 Q	13,965,600株	2020年11月期 1 Q	13,965,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、世界的な大規模金融緩和と財政出動により回復の兆しを見せておりますが、ワクチン接種普及状況の見通しが不透明であることや、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束に向かっていない等、依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

当社が属するバイク業界におきましては、国内におけるバイクの保有台数は約1,053万台（前年比1.8%減）と前年を下回るものの、当社の主力仕入とする高市場価値車種である原付二種以上は約543万台（前年比1.1%増）と前年を上回っております^{*1}。また、新車販売台数は約33万台（前年比0.9%減）と前年を下回るものの、高市場価値車種は約21万台（前年比3.4%増）と前年を上回っております^{*2}。

※1. 出所：一般社団法人日本自動車工業会(2019年3月末現在)

※2. 出所：一般社団法人日本自動車工業会(2020年実績)

このような市場環境のもとで、当社は、ビジョンとして掲げる「バイクライフの生涯パートナー」の実現に向けて、従来のバイク買取専門店としての「バイクを売るならバイク王」から、バイクに係る全てのサービスを総合的に提供する「バイクのことならバイク王」と言われるブランドへ進化を目指しております。そして、一人ひとりのお客様満足度のさらなる充実とともに長期にわたって多くのお客様に支持していただける企業になること、さらに、お客様とともにより豊かなバイクライフを創り上げていく企業となることを実現したいと考えております。

当事業年度においては、従来から進めてきた複合店（買取およびリテールを展開する店舗）における仕入力および販売力の強化をさらに推進し、より一層お客様満足度を高めるとともに、経営基盤の強化に努めてまいります。

上記を踏まえ、当第1四半期累計期間において、バイクの仕入は、前期同様に高市場価値車種の確保を継続しているため、引き続き車種売上単価は上昇いたしました。

また、リテールは、マーチャンダイジング施策として商品ラインアップの適正化、店舗の移転・増床（2店舗）、接客力向上、売り場改善による既存店の強化および通信販売の強化に努めた結果、堅調な需要にも支えられ、好調に推移いたしました。また、ホールセールも、高市場価値車種の確保の施策が奏功したことで好調な展開となり、バイクのオンシーズンに向けて在庫の確保も行いました。

なお、3月と4月には新たに新規出店（2店舗）、店舗の移転・増床（1店舗）を実施しています。

これらの取り組みによって、リテール台数は前年同期より増加し、ホールセール台数は前年同期よりやや減少して、全体の販売台数は前年同期をやや上回る結果となりました。また、車種売上単価（一台当たりの売上高）の上昇と併せ、売上高は増収となりました。加えて、平均粗利額（一台当たりの粗利額）が前年同期を上回ったことにより売上総利益も増益となりました。

営業利益以降の各段階利益につきましては、ホールセール、リテールいずれも好調により前年同期から大幅な増益となりました。これにより、課題であったバイクのオフシーズンの需要低下による第1四半期の赤字解消を達成することができました。

以上の結果、売上高5,578,981千円（前年同期比22.7%増）、営業利益215,868千円（前年同期は174,665千円の営業損失）、経常利益251,174千円（前年同期は150,356千円の経常損失）、四半期純利益158,868千円（前年同期は120,920千円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて219,560千円減少し、4,980,883千円となりました。これは主に、現金及び預金が439,819千円、未収入金の減少等により「その他」が39,138千円減少し、売掛金が153,405千円、商品が110,943千円増加したためであります。

(固定資産)

固定資産は、前事業年度末に比べて79,989千円減少し、2,375,142千円となりました。これは、繰延税金資産の減少等により「投資その他の資産」が74,875千円、ソフトウェア償却費の計上等により「無形固定資産」が34,204千円減少し、建物及び建物附属設備の増加等により「有形固定資産」が29,090千円増加したためであります。

(流動負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて381,781千円減少し、2,222,230千円となりました。これは主に、未払法人税等が251,800千円、賞与引当金が154,091千円、未払金が46,793千円減少し、買掛金が79,890千円増加したためであります。

(固定負債)

固定負債は、前事業年度末に比べて6,801千円減少し、463,968千円となりました。これは主に、長期未払金の減少等により「その他」が11,194千円減少したためであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて89,032千円増加し、4,669,826千円となりました。これは主に、利益剰余金が89,040千円増加（四半期純利益158,868千円、株主配当69,828千円）したためであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、2021年3月30日付で公表いたしました「2021年11月期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、現時点での新型コロナウイルスによる業績への影響はありません。今後も状況の変化を注視してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当第1四半期会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,680,820	1,241,000
売掛金	83,553	236,959
商品	3,179,233	3,290,177
貯蔵品	12,291	7,350
その他	252,177	213,038
貸倒引当金	△7,632	△7,642
流動資産合計	5,200,443	4,980,883
固定資産		
有形固定資産	770,817	799,908
無形固定資産	824,661	790,456
投資その他の資産		
その他	876,010	803,367
貸倒引当金	△16,357	△17,814
関係会社投資損失引当金	-	△776
投資その他の資産合計	859,653	784,777
固定資産合計	2,455,132	2,375,142
資産合計	7,655,575	7,356,025
負債の部		
流動負債		
買掛金	253,607	333,497
短期借入金	100,000	100,000
未払金	671,436	624,643
未払法人税等	289,600	37,800
賞与引当金	217,456	63,364
その他の引当金	4,173	3,337
資産除去債務	2,428	8,275
その他	1,065,308	1,051,311
流動負債合計	2,604,011	2,222,230
固定負債		
資産除去債務	212,810	217,203
その他	257,959	246,765
固定負債合計	470,770	463,968
負債合計	3,074,782	2,686,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	590,254	590,254
資本剰余金	609,877	609,877
利益剰余金	3,736,745	3,825,786
自己株式	△356,229	△356,229
株主資本合計	4,580,648	4,669,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	144	136
評価・換算差額等合計	144	136
純資産合計	4,580,793	4,669,826
負債純資産合計	7,655,575	7,356,025

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年12月1日 至2020年2月29日)	当第1四半期累計期間 (自2020年12月1日 至2021年2月28日)
売上高	4,545,297	5,578,981
売上原価	2,582,785	3,078,200
売上総利益	1,962,511	2,500,781
販売費及び一般管理費	2,137,176	2,284,912
営業利益又は営業損失(△)	△174,665	215,868
営業外収益		
受取利息及び配当金	143	181
クレジット手数料収入	19,506	26,748
その他	5,820	9,023
営業外収益合計	25,470	35,953
営業外費用		
支払利息	700	648
為替差損	460	-
その他	0	-
営業外費用合計	1,161	648
経常利益又は経常損失(△)	△150,356	251,174
特別利益		
関係会社株式売却益	-	14,148
特別利益合計	-	14,148
特別損失		
固定資産売却損	89	-
固定資産除却損	633	0
減損損失	-	9,061
関係会社株式評価損	-	9,564
その他	-	2,233
特別損失合計	722	20,859
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△151,079	244,463
法人税、住民税及び事業税	13,761	26,865
法人税等調整額	△43,920	58,729
法人税等合計	△30,158	85,594
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△120,920	158,868

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。